

平成24年度6月補正予算の概要及び主要施策

I 6月補正予算（一般会計）『4,300万円』を計上

6月補正予算の編成に当たっては、当初予算編成後、厳しい財政状況を踏まえながら、新たに緊急性かつ必要性の認められる事業を実施するため、一般会計では4,300万円の補正予算を編成する。

《平成24年度一般会計予算》

◇当初予算 151億5,000万円（対前年度6億円 4.1%）
6月補正予算 4,300万円
予算総額 151億9,300万円（対前年度同月5億6,000万円 3.8%）

（参考）前年度同月：146億3,300万円

《6月補正予算編成上のポイント》

- オオサンショウウオが生息するフィールドを生かした、川の保育園構築による子育て世代の定住促進事業及び都市と農村との交流事業の推進
- 青年就農給付金の拡充及び農業体質強化基盤整備促進事業による暗渠排水整備・土層改良事業による農業の活性化

II 6月補正予算の規模等

1 歳入歳出規模

（単位：万円、%）

区 分	当初予算額 A	前回補正額 B	6月補正額 C	累計額		
				D (A+B+C)	対当初予算比 D/A	
一般会計	1,515,000	—	4,300	1,519,300	100.3	
特別会計	国民健康保険	223,200	—	223,200	100.0	
	下水道事業	69,800	—	69,800	100.0	
	農業集落排水事業	35,400	—	35,400	100.0	
	介護保険	234,200	—	820	235,020	100.4
	簡易水道事業	30,900	—	—	30,900	100.0
	電気事業	4,690	—	0	4,690	100.0
	芸北財産区	120	—	—	120	100.0
	診療所	17,400	—	—	17,400	100.0
	情報基盤整備事業	42,100	—	—	42,100	100.0
	後期高齢者医療	27,480	—	—	27,480	100.0

2 繰越明許費（確定） 34,441万円

・ 一般会計	34,031万円
・ 特別会計	410万円

Ⅲ 平成24年度6月補正予算「主要施策等一覧表」 ※1~3：事業説明資料の添付

1 一般会計

●定住と交流の拡大・子育て支援の充実強化 1,270万円		補正額(万円)	予算書(頁) 一般会計
川の保育園構築事業※1	・新しい公共の場づくりのためのモデル事業補助金(川の保育園構築による子育て世代の定住促進事業及び都市と農村との交流事業の推進)	920	2
観光振興対策事業	・雲月山歩道改修事業	350	6
●活力ある地域経済の創出 1,060万円			
農業振興事業※2	・青年就農給付金(拡充)	600	4
	・農業体質強化基盤整備促進事業(暗渠排水整備・土層改良事業)	460	4
●安全・安心なまちづくり 361万円			
火葬場修繕事業※3	・浄寿苑(芸北)修繕事業(斎場拡張・トイレ改修・駐車場舗装・看板修繕)	361	4
●その他 1,213万円		補正額(万円)	予算書(頁)
予備費	・大雨等災害対策費、補正調整ほか	1,213	9

広島県新しい公共の場づくりのためのモデル事業

「川の保育園」構築・子育て世代の定住促進事業

1 趣 旨

多様な団体が、地域課題の解決に向けて協働・連携して取り組む県事業「新しい公共の場づくりのためのモデル事業」に、NPO 法人 INE おおあさを主体として「川の保育園構築・子育て世代の定住促進事業」を提案、採択を受け行政及び関係団体による推進体制を構築し事業を推進する。

2 目 的

オオサンショウウオが生息するフィールドを有する町内保育園において、自然から生きることを学ぶ特徴的な「ふるさと大好きカリキュラム」を作成し、それを「川の保育園」と位置付けて発信し、NPO 法人を中心に地域住民・安佐動物園・大学・町内企業・北広島町と連携して、自然を生かした川の保育園による子育て世代の定住やツアー等による都市と農村との交流を推進する。

3 事業内容

(1) 推進主体：NPO 法人アイエヌイーおおあさ

(2) 参加団体：双葉保育園・三ちゃんS村・NPO 法人ファザーリングジャパン・ホープバス協同組合たびーと・安佐動物公園・愛媛大学・北広島町

(3) 概要

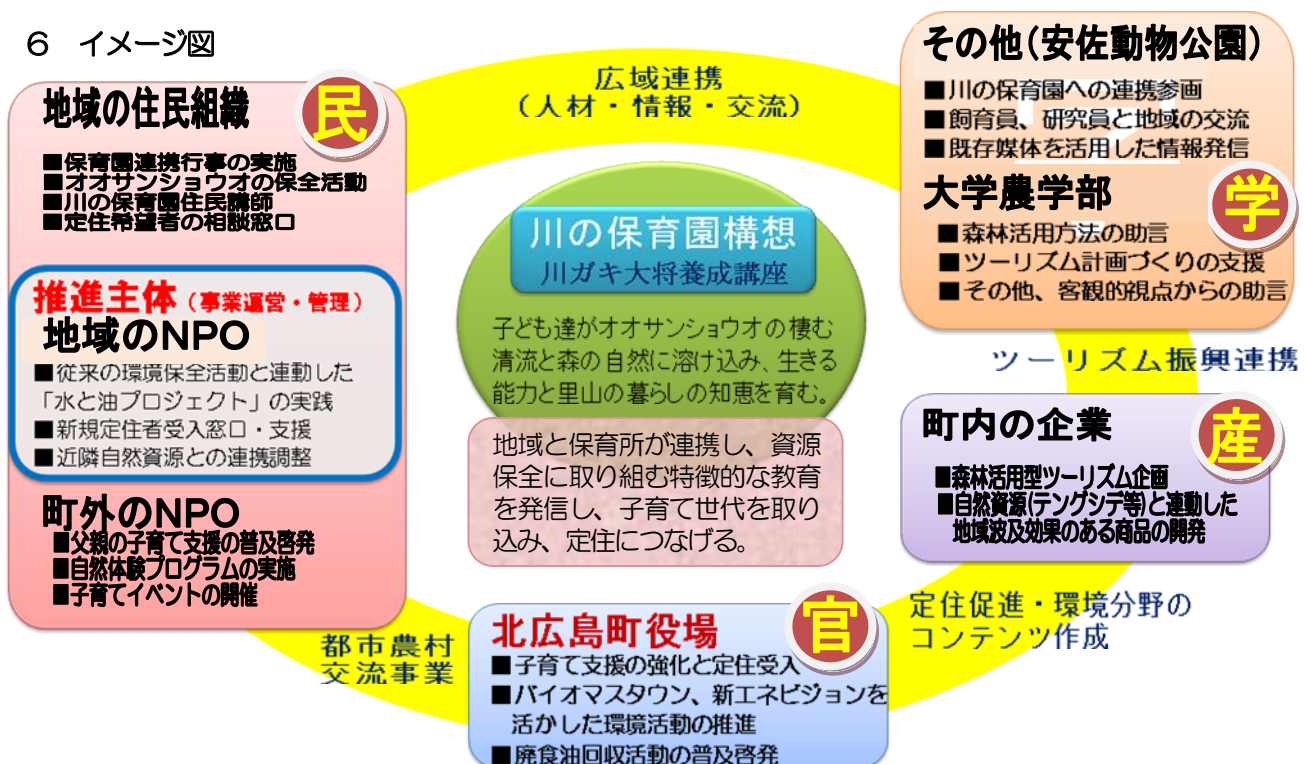
- ①川の保育園カリキュラム作成（自然から生きることの学ぶ大切さを学ぶ）
- ②環境整備（森や川に入る保育を行うために必要な安全確保）
- ③川の保育園の情報発信ツールの整備と保育士への指導（保全活動の情報発信）
- ④川と農地の保全活動「水と油プロジェクト」の実施（廃食油回収活動の推進）
- ⑤「三ちゃんS村」の取組むイベント時における都市部の未就学児世帯を対象とした保育体験会の開催（定住の誘因）
- ⑥父親の育児参加を促すイベント「ファザーリング」のイベント開催
- ⑦ファンレイジングの仕組みづくり（持続可能な取組みとするための資金調達手法）

4 効 果

地域住民が参画する川の保育園構想により、住民が暮らしに誇りを持ち元気になるとともに、資源保全に取り組む特徴的な保育、及び地域の活力を伸ばし、町と連携して事業展開を行い、町の基本目標である「地域を再生し、定住交流の拡大」及び子育ての充実を図る。

5 事業費 9, 195 千円（県費補助金 10/10） ※6月補正財源内訳（県支出金 9,195 千円）

6 イメージ図



経営安定支援交付金「国事業名：青年就農給付金（経営開始型）」

経営安定支援交付金については、当初予算において新たに独立・自営就農している研修生等 4 人分を計上しているが、親元就農した者も支給対象とすることを国が決定したため、国制度を活用できるよう該当見込み者分を追加する。

1 事業の概要

(1) 交付金額

150万円／年を経営開始直後から最大5年間交付する。なお、前年の所得が250万円以上となった場合は給付を停止する。

(2) 主な要件

- ①新たに就農する年齢が44歳以下であること。
- ②新規に専業農家として独立・自営すること。なお、専業農家である親元への就農の場合は、新規に従事して5年以内に経営権を譲り受けること。
- ③農業で生計の成り立つ経営開始計画の承認を受けること。
- ④地域または集落の中心となる経営体等を定める「人・農地プラン」に新規就農者として位置付けられること。
- ⑤原則、生活費の確保を目的とした給付等を受けていないこと。
- ⑥平成20年4月以降に農業経営を開始した新規就農者であること。

等

2 補正内容

6,000千円 = 4人×1,500千円／人

(単位：千円)

	予算額	積算内訳
当 初	6,810	1,500×3人+(1,500+810)×1人
6月補正	6,000	1,500×4人
計	12,810	1,500×7人+(1,500+810)×1人

3 財 源

農林水産省所管 新規就農総合支援事業 青年就農給付金（経営開始型）
補助率：定額（10/10） 町負担なし

※6月補正財源内訳

経営安定支援交付金 6,000千円（県支出金 6,000千円）

農業体質強化基盤整備促進事業補助金

農業体質強化基盤整備促進事業は、担い手が、経営規模の拡大や農作物の高付加価値化・品質向上等に取り組む上で支障となる、農地の区画狭小・排水不良や農業用水の不足等農業基盤の課題解決を支援することを目的に創設された。

本事業を要望していた3地区が採択となったため、今回補正予算に計上する。

1 事業の概要

経営高度化の品目であるキャベツ、ブロッコリー、白ネギの作付けを促進するため、畑作栽培に適すよう農業生産基盤の整備（暗渠排水・土層改良）を行う。

（単位：千円）

地区名	工事概要	施工区分	事業費	年度別事業費	
				H24	H25
木次	暗渠排水 4.0ha 測量試験費一式	町施工	12,700	3,600	9,100
南門原	暗渠排水 1.6ha 測量試験費一式	町施工	4,300	300	4,000
岩戸	土層改良 0.6ha	受益者施工	1,000	1,000	0
計			18,000	4,900	13,100

2 財源内訳（H24 施工分）

（単位：千円）

財源	町施工分	受益者施工分	計
国県補助金 （国 55%、県 15%）	2,730	700	3,430
受益者負担金（30%）	1,170	300	1,470
一般財源	0	0	0
計	3,900	1,000	4,900
補正予算計上額	3,900	700	4,600

※ 6月補正財源内訳

農業体質強化基盤整備促進事業 4,600 千円

（分担金 1,170 県支出金 3,430 千円）

浄寿苑（芸北）修繕事業

1 事業の目的

芸北地域の浄寿苑は、建設後 30 数年が経ち町内で最も古く、施設の老朽化が進んでいるものの、再燃炉を備えダイオキシン類削減対策がなされたものである。

斎場等がせまく、特に冬季間での火葬等に不便な状況等について改修等を行う。

※参考 北広島町火葬場施設の概要

地域名	施設名	設置場所	設立年月	火葬炉数	備考
芸北	浄寿苑	細見	昭和 51 年 3 月	1 基	
大朝	紫光苑	邑南町	平成 5 年 10 月	2 基	町域外
豊平	光寿苑	戸谷	平成 9 年 12 月	1 基	1 基増設可
千代田	慈光苑	壬生	平成 20 年 11 月	2 基	

火葬場運営に関しては、北広島町長期総合計画（平成 19 年 3 月）にうたっているとおり、「各地域における火葬場の整備・充実、及び適正な管理を行う」方針である。

今後も、各地域の既存施設を維持管理しながら利用していくため、施設の改修等を行う。

2 事業内容

- ① 炉前ホールに参列者が入りきれず、最後のお別れに不便をかけていたことを解消するための施設入口空間を利用した拡張工事
- ② 汲取り便所のため、利用者に不快感を与えていたことを解消するための簡易水洗化工事
- ③ 参列者の利便性向上のための道路を挟んで反対側の駐車場舗装工事
- ④ 老朽看板の修繕工事

3 補正の内容

① 斎場拡張工事（アルミ両開き扉ドア、アルミ F I X 窓等）	1,291,500 円
② トイレ改修工事（既設便器撤去、簡易水洗便器設置等）	735,000 円
③ 駐車場舗装工事（350 m ² ）	1,408,050 円
④ 看板修繕工事（既設老朽化看板撤去、看板設置）	176,400 円
合 計	3,610,950 円

4 今後のスケジュール

- 6 月 工事発注事務（業者選定、入札等）
- 9 月 改修工事完成

※ 6 月補正財源内訳

火葬場管理運営事業「工事請負費」3,611 千円（一般財源 3,611 千円）